- 希望WG･PT;監督･検査･施工管理WG、(仮)ローラ加速度法PT

- PTで取り組みたい内容、進め方の提案　;

『振動ローラの加速度応答による面的な品質管理技術（αシステム）』の品質管理基準（案）の策定

特　徴　;

（TS･GPSを用いた締固め管理技術との併用で、面的に締固め回数と地盤品質を同時に確認でき、より高精度かつ合理的な品質管理が期待できる）

OBAYASHI　前田建設

≪振動ローラの加速度応答による面的な品質管理技術（αシステム）≫

【検証すべき事項】

（1）密度管理手法としての適用性

（2）地盤剛性評価手法としての適用性

（3）振動ローラ加速度応答法を用いた品質管理体系の基礎検討

【具体的な進め方】

（1）モデル事業での適用

（2）モデル事業における実施項目（案）

①締固め度Dc～加速度応答値E_{roller}の相関性
②平板載荷試験等による変形係数E～E_{roller}の相関性
③E_{roller}のバラツキ程度
④加速度応答を用いた品質管理方法の整理
⑤システムトラブルの発生頻度
⑥現場職員のシステム操作性・負担度
⑦歩掛り（システム操作・帳票整理等に係る時間数）

OBAYASHI　前田建設